

14 家庭・学校・地域をつないでみんなで子どもを育てよう

【き】 教育実習で、先生の熱意に感動！

平成13年に、小学校の教員免許を取りに教育実習を受けたとき、先生方が想像以上に熱心に子供たちを見守ってくれていたことに感動しました。そんな先生方の子供たちに対する思いと親たちの子どもへの思いをつなげたいと思いました。

かつて子育て学習センターの広報誌「くろっこママ通信」をつくっていた仲間片っ端から声をかけ、家庭と学校と地域をつなぐ子育て通信誌を発行しようと集まった仲間が9人。同センターでお世話になった方に相談し、町の教育委員会を紹介していただき、全面的に支援していただくことになりました。



メンバー似顔絵

【概】 私たちの思い、教育委員会の思い

具体的な活動は平成15年度から始まりました。私たちは学校を通して、自分たちがつくった子育て通信誌「PSC通信」を配りたいと思い、活動を応援してくれていた委員会の生涯学習課長さんに相談しました。すると、支援していただいている教育委員会の会議で協議の上、町内に全戸に配布することが決定されました。そのため、記事についても、教育委員会から全戸に配布されるものとして、表現の訂正や削除を求められることがあり、自分たちの思いと違う内容・配布方法でスタートしました。1年がすぎ、全戸配布の効果の实感がなかったため、クラブで会議を重ね、自立した活動にしよう決心しました。16年度は町の人権啓発活動事業補助金に応募し、町内2つの小学校を通過しての「PSC通信」の配布を実現しました。

【成】 記事で取り上げたのがきっかけで…

記事で、参観日後の懇談会の参加者が少ないことを取り上げました。すると、PTAでそれが議題として取り上げられ、校長先生に相談するということがありました。さらに、17年度PTA広報部から、PTA広報活動の参考にしたいと連携のお話いただきました。

【夢】 幼稚園や中学校とも

幼稚園、小学校、中学校、それぞれの保護者が、もっと情報交換をできるようにしていきたいと考えています。たとえば、小学校の保護者と中学校の保護者が互いの困ったことを話し合ったりとか…。また、経済的にも自立したいと考えています。西脇市との合併を控え、教育委員会からの支援もどうなるか分かりません。PSC通信に広告を載せられたら一番いいのですが、学校を通して配布しているため、それも難しいのが現状です。これからの課題ですね。

Pi-chiクラブ

代表者氏名 : 東野由美子
活動地域 : 黒田庄町
事務所等 : 多可郡黒田庄町前坂1-75
電話番号 : 0795-28-5064
FAX番号 : 0795-28-5064

活用した支援

ふれあい・人づくり・町づくり事業
(人権啓発事業) 補助金(黒田庄町)



学校とはPTAを通じて連携しました

校長先生に、学校を通じてPSC通信を発行させてほしいとお願いに行きました。はじめは、代表者が交渉にいきましたが、これまでの「ママ広報部」の活動等の理解がない学校には、警戒され、いい返事をいただけませんでした。

次に、クラブのメンバーにその学校のPTA役員をしている人がいたので、その人がお願いにいき、配布が決定になりました。やはり先生にしても、誰かよく分からない人よりも、よく知っている方からお話していただいた方が良いでしょう。



子育て学習センターで得た人脈を大切に

7年ぐらい前、代表が同センターで「ママ広報部」というのを一人で立ち上げ、子育て通信誌をつくりました。これがセンターの人たちの反響を呼び、ママ広報部には瞬く間に20人ぐらいの仲間が集まりました。Pi-chiクラブのメンバーもみんなこの頃の仲間たちですし、活動を陰で支えてくれているのも子育て学習センターの方です。今、大変お世話になっている町の生涯学習課長さんも、その方に紹介していただきました。



「ためになる」と思えばどこへでも

インターネットで、金沢に子育て情報誌をつくって成功している団体があることを知り、メールでアポを取って直接アドバイスをいただきに行きました。以前、兵庫県の子育てサークルリーダー講習会の講師として来られていた、川崎で活動をされている方にもお会いしました。

どちらも「子育て支援に取り組んでいる人たちは、みんな仲間」と歓迎してくださいました。また、「子育て情報誌には、学校のことを載せるのは難しい」ともおっしゃっていました。そういう意味では、私たちの活動は先駆的なものかもしれません。

読者の皆さんへのメッセージ

子育ては乳幼児期だけでなく、ずっと続きます。乳幼児、小学生、中学生の保護者、それぞれに、子育てサークルがしてあげられることはあるはず。子育てサークルの発展的継続は重要な課題ですよ！！

